

C L T 活用促進に関する関係省庁連絡会議（第 8 回）
議事要旨

日 時： 平成 30 年 11 月 1 日（木）10:30～10:43

場 所： 官邸 3 階南会議室

出席者： 野上 浩太郎 内閣官房副長官
和泉 洋人 内閣総理大臣補佐官
西川 公也 内閣官房参与
青木 孝徳 内閣官房内閣審議官
勝野 美江 内閣官房東京オリンピック競技大会・東京オリンピック競技大会推進本部事務局参事官
安田 浩己 警察庁長官官房会計課長
多田 健一郎 総務省大臣官房審議官（財政制度・財務担当）
佐藤 淳 法務省大臣官房施設課長
平井 明成 文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部長
白間 竜一郎 文部科学省高等教育局私学部長
本多 則恵 厚生労働省大臣官房審議官（雇用環境・均等、子ども家庭、少子化対策担当）
諏訪 園健司 厚生労働省大臣官房審議官（老健担当）
迫井 正深 厚生労働省大臣官房審議官（医政・精神保健医療・災害対策担当）
本郷 浩二 林野庁次長
住田 浩典 国土交通省大臣官房官庁営繕部長
小林 靖 国土交通省大臣官房審議官（住宅局担当）
森下 哲 環境省地球環境局長
吉田 健一郎 経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー課長

1. 開会

C L T の活用状況からロードマップのフォローアップまでを報告後、質疑応答を行い、最後にプレスを入れ、野上内閣官房副長官より発言をいただく。

2. C L T の活用状況について

C L T の活用状況について内閣官房より説明。

- ・ 資料 1-1 は、C L T 建築物の竣工件数である。平成 29 年度は、前年度比 1.8 倍の 86 件が竣工し、平成 30 年度は、127 件が竣工済み又は設計・整備中である。また、本年度中には全ての都道府県で 1 件以上の整備がなされる予定である。
- ・ 資料 1-2 は、C L T を活用した民間による中高層建築の事例である。
- ・ 資料 1-3 は、都道府県別に整理した表である。

- ・ 7ページは、整備状況を用途別に整理したものである。地方公共団体関連施設や事務所、店舗・倉庫での活用が多数予定されており、学校や保育園などの教育・医療・福祉分野での活用や国の庁舎での活用も増加している。
- ・ 資料1-4は、竣工済みのCLTを活用した建築物一覧である。CLTを活用した建築物がどこにあるのか一般の方に知っていただけるよう、本日の会議終了後より、ホームページで公表する予定である。

3. CLT関連予算概算要求について

CLT関連予算概算要求について内閣官房より説明。

- ・ 資料2の1ページは、CLT等木材利用への支援予算であり、平成31年度当初予算においても、林野庁、国土交通省、環境省において、先導的・先駆的な事業を対象とする建築主向けの予算を要求している。
- ・ また、林野庁においては、中高層建築物を中心としたCLT等の利用促進を加速する観点から、建築事業者を対象としたCLT調達費の一部支援等を増額要求している。
- ・ 2ページは、文科省、厚労省に係る施設について、CLT建築物での活用も可能な予算である。
- ・ 3ページ以降は林野庁、国交省、環境省の事業概要である。

4. CLTロードマップのフォローアップなど

- ・ 資料3-1は、昨年1月に策定したロードマップのフォローアップである。初年度である29年度を振り返り、関係省庁の取組を整理した。
資料中の赤字は、主な取組を示している。
- ・ 1ページ、CLTアイデアコンテストの設計部門が創設され、農水、国交、環境の3大臣賞が授与された。今年度も引き続き実施予定である。
- ・ 2ページ、国土交通省が木造の官庁施設の計画及び設計に関する標準的な手法などを定めた「木造計画・設計基準」にCLTに関する規定が追加された。
- ・ 3ページ、CLTを用いた建築物の構造計算に必要なCLTの基準強度について告示の改正をし、従来より薄い層構成のCLTが使用可能となった。
- ・ 生産能力については、年6万㎡の目標を達成した。
- ・ また、木材利用促進法に基づく「公共建築物における木材利用の促進に関する基本方針」にCLT活用の努力義務について明記された。
- ・ 関係省庁におかれては、ロードマップの実現に向けた取り組みを関連予算の確保も含め引き続きよろしく願います。
- ・ 資料3-2は、内閣官房において用途別の支援可能な予算を一覧で整理したものである。これは、CLT一元窓口サイトにも掲載している。
- ・ このほか、参考資料を配布している。「CLTで拓く地域づくり」は、地方公共団体で構成するCLT建築推進協議会が改訂したものである。電子媒体も活用できるので、活用頂きたい。

5. 質疑・意見など

西川内閣官房参与より以下の発言があった。

- ・ 今、林業経営体の育成ということで、川上・川中・川下を一体で改革する検討をしている。その中で国産材しっかり使ってもらい、材価を上げていこうという話をしている。
- ・ CLTは、中・四国地域には大規模工場があるのですが、残念ながら関東にはないことから、積極的に工場を造るという状況までいけたら、地方の材が使えるということにつながる。中・四国以外でも積極的に大きな工場ができること願っている。ご理解をお願いする。

副議長である和泉総理補佐官より以下の発言があった。

- ・ 西川参与の話にもあったが、CLTはまだ（価格が）高いが、（これには）輸送コストが含まれるので、適切な工場配置はとても大事である。
- ・ CLTは、適材適所で使えばすばらしい中高層のビルもできる。まだ出来上がっていないが、12階建てとか10階建てというのが出てきている。
- ・ 棟数もかなり急激に伸びているので、野上副長官のもと、菅官房長官の観光のインバウンドに負けなくらい、CLTを伸ばしていきたいと思っている。

最後に、プレスを入れ、野上副長官より発言があった。

- ・ 本日の会議では、CLTを活用した建築物が、昨年度は前年度と比べて1.8倍増の86件竣工し、今年度には、すべての都道府県においてCLTを活用した建築物ができる見込みであるとの報告があった。
また、今年、CLTを構造材とした6階建ての民間のビルが竣工した。
CLTの活用は、全国へ、また、中高層分野へと着実に進んでいる。
- ・ また、この会議終了後、全国のCLT活用建築物の一覧表を公開する。建築物の用途やCLTの使い方を参照頂き、横展開を図って頂きたい。
- ・ さらに、CLTを含めた木材利用を一層推進するため、木材利用推進中央協議会が主催する「木材利用優良施設コンクール」において、今年度から新たに、内閣総理大臣賞を創設することとした。これもテコとして、更なる技術開発と木材利用の拡大を期待したい。
- ・ 昨今、全国各地で地震や台風に伴う土砂災害が多発している。CLTの活用促進は、新たな木材需要を生み出し、適切な森林管理を通じた土砂災害の抑制、国土強靱化にも寄与するものである。
各省庁においては、引き続き、CLTの活用促進に取り組んでもらいたい。

6. 閉会

—以上—